

AY2019年度夏期韓国語イマージョンプログラム・シラバス

AY2019 Summer Korean Language Immersion Program

科目名 : 特殊講義 / Special Lecture
言語 : 韓国語 / Korean Language
派遣校 : 釜山外国語大学校 / Busan University for Foreign Language Studies
機関 : 韓国語学堂 / Center for Korean Language and Culture Education

応募資格 Recommended Qualifications	<p>本プログラムの趣旨・目的を理解し、韓国現地での学習に意欲を持って真摯に取り組む姿勢、熱心さをもつAPUの学部生。原則的にAPUの「韓国語Ⅰ」以上を履修済みの学生、またはこれと同等の学習歴、資格を有する学生であること。</p> <p>* APUで韓国語を履修したことがなく、APUの「韓国語Ⅰ」レベル以上の学習歴、資格を有する志願者に関しては所定のテストを行う。</p> <p>In principle, all applicants are required to have a minimum of 1 semester Korean learning experience in the curriculum of APU. Applicants who has equal ability compare with students who completed APU Korean 1 course are expected to be interviewed to register for this program.</p>
期間 Schedules	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2019年8月9日～2019年8月30日（3週間）</p> <p>出国日/departure : 8月9日 入学式/entrance ceremony : 8月9日 修了式/completion ceremony : 8月29日 帰国日/the date of return : 8月30日</p>
① 授業のねらい	<p>中上級レベルの韓国語能力を身につける。韓国語能力試験(TOPIK)Ⅰ、Ⅱの受験に備え、聴解力、読解力の向上を目指す。TOPIKⅡ対策クラスでは、作文の練習を行う。韓国語、韓国の文化・社会に対する理解度を高める。</p>
② 到達目標	<p>APUの「韓国語」科目で学習した韓国語の文法、語彙、慣用表現を再確認し、各レベルで必要とされる言語学習の諸事項を新たに身につけることによって韓国語の言語運営がさらに上達する。実際の諸場面で韓国語を用いたコミュニケーションに挑み、韓国語発話に対する心理的抵抗を克服し、また語用面でも韓国語の言語運営に対する理解が深まる。各種アクティビティ、学生交流会、特殊講義などを通じて韓国語、韓国の文化、社会に対する理解が深まり、引き続き言語学習や学部専攻における学部生としての「学び」に真摯に取り組むことができる。</p> <p>このプログラムを修了した参加者には、第66回（2019年10月20日実施予定）韓国語能力試験Ⅰ、もしくはⅡの受験を強く勧める。</p> <p>It is highly recommended that all participants of the program take the 66th TOPIK test which will be held on Oct. 24, 2019.</p>

<p>③ 授業方法</p>	<p>授業はすべて韓国語で行う。学んだ文型と語彙に関する簡単なテストを必要に応じて随時行う。「学びあい」学習では、自習、TANDEM 学習などを行う。TOPIK 対策に重点をおいた授業を展開し、聞き取り、読解、作文を中心とした授業を行う。韓国の文化・社会事情に関する学習を取り入れた授業を行う。聞き取り・作文・読解の総合試験を実施する。</p>
<p>④ 毎回の授業の概要</p>	<p><受講者ガイダンス/ Participant Guidance Session> 2019年5月15日(水)5限,6限 May 15th (Wed) 5th, 6th period</p> <p><事前講義 : 計5回/ Pre-departure Class: 5 classes> 6月26日 5、6限 : 第1、2回目 : TOPIKの概要、その他のアクティビティについて、TOPIK集中講座 7月3日 5、6限 : 第3、4回 : TOPIK集中講座 7月10日 5限 : 第5回目 : TOPIK I、IIの模擬試験 June 26th, 5th & 6th period: 1st & 2nd class July 3rd, 5th & 6th period : 3rd & 4th class July 10th, 5th period: 5th class</p> <p><危機管理ガイダンス/ Risk Management Guidance Session> 2019年7月13日(土)2限、3限 July 13th (Sat) 2nd, 3rd period</p> <p><<事後授業 : >> TOPIK I、IIの模擬試験</p>
<p>⑤ 成績評価方法</p>	<p>APUでの事前授業・事後授業および釜山外国語大学での成績の合算によって評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ APUでの事前授業と事後授業/pre-departure lectures (20%) ■ 釜山外国語大学での試験/paper test (50%) ■ 釜山外国語大学での出席/participation (20%) ■ 釜山外国語大学の宿題・課題物、その他のアクティビティ/activities and tasks (10%) <p>一. 釜山外国語大学での出席率が80%未満の場合、成績評価の対象外となる。</p> <p>一. 授業開始から15分以上が経過した場合は遅刻とみなされ、遅刻3回で、欠席1回とみなされる。</p> <p>一. 会話・聞き取り・読解・作文の各成績が50点以上、4つの項目の合算成績が平均70点以上なければならない。</p>

<p>⑥ 学生への 要望事項</p>	<p>参加者の学生は事前授業、現地研修、事後授業の全てに積極的に取り組まなくては いけません。また、派遣校での授業においては欠席・遅刻しない、与えられた課題 を誠実にこなす、真摯な態度で授業に臨むことが求められます。また、授業外のア クティビティにおいても積極性を発揮し、現地の学生や先生方との間で有意義な 学びが起こるように努めてください。なお、プログラム中において学生の皆さんに 許されていない行動をとってははいけません。健康・安否上のトラブルが発生した場 合は、担当の教職員に報告し、指示に従うよう心掛けてください。</p>
<p>⑦ テキスト</p>	<p>主教材： 副教材：</p>
<p>⑧ 参考図書</p>	<p>Korean Society 韓国社会を読む（曹美庚他／朝日出版社） Korean Culture 韓国文化を読む（曹美庚他／朝日出版社）</p>
<p>⑨ 備考</p>	<p><アクティビティ一覧> ・ 学生交流会 ・ 特殊講義 ・ フィールドスタディ *アクティビティの内容は天候の他、諸事情によって変更になる場合があります。</p>
<p>⑩ 担当教員 電話番号</p>	<p>JUNG JONGHEE（チョン・ジョンヒ） 内線 4 6 4 2</p>
<p>⑪ 担当教員 Email アドレス</p>	<p>担当教員： JUNG Jonghee（チョン ジョンヒ） Email：jungjh@apu.ac.jp</p>
<p>⑫ 関連ページ</p>	<p>釜山外国語大学韓国語学堂：https://klce.bufs.ac.kr/klce/ 駐大韓民国日本国大使館：http://www.kr.emb-japan.go.jp/ APU「海外留学」ページ：http://www.apu.ac.jp/home/exchange/</p>